

2020年度
活動報告
in 屋島

香川大学博物館
高大接続推進事業

活動名:「自然史研究リーダー養成による
フィールド研究志向高校生のリクルート」

日 時:令和2年11月14日(土)

【実習】9:45～14:30(昼食・まとめを含む)

【駐車場に移動】14:30～15:00

場 所:【実習】屋島周辺(長崎の鼻～北嶺) 【まとめ】屋島北嶺千間堂広場

講 師:

【地形・地質班】寺林 優(博物館長・創造工学部教授)……生徒13, 教員4, TA2

【昆虫班】伊藤文紀(博物館副館長・農学部教授)………生徒19, 教員1, TA4

【樹木班】小宅由似(創造工学部助教)・守屋 均(元創造工学部)…生徒11, 教員2, TA2

【草本班】篠原 渉(博物館副館長・教育学部准教授)……生徒17, 教員2, TA3

内 容:

【地形・地質班】露頭で岩石を観察し、走向傾斜の測定方法、地質と地形の関係を学ぶ。

【昆虫班】アリ類を採集し、アリの同定(名前調べ)方法、アリ相の特徴を学ぶ。

【樹木班】樹木や森林を観察し、樹木の見分け方、森林の階層構造や植生の特徴を学ぶ。

【草本班】草本を観察し、見分け方、地質や地形および地理的分布の特徴を学ぶ。

参加者:

高松東高等学校	生徒 6名, 教員 1名	香川大学
高松北高等学校	生徒 11名, 教員 1名	教員 4名(農1, 創造工2, 教育1)
香川中央高等学校	生徒 7名, 教員 2名	ティーチングアシスタント 11名
坂出高等学校	生徒 11名, 教員 1名	(農4, 創造工4, 教育3)
丸亀高等学校	生徒 8名, 教員 1名	元教員 1名
丸亀城西高等学校	生徒 5名, 教員 1名	博物館職員 2名
観音寺第一高等学校	生徒 12名, 教員 2名	<u>合計 87名</u>
計7校	生徒60名, 教員 9名	計69名

服装・持参物:

活動しやすい服装(長袖, 長ズボン), 活動しやすい靴, 軍手, 帽子, タオル,
筆記用具, 昼食, 飲み物, 雨具(もしくは折畳傘), マスク着用のこと

注 意:当日の朝に全員検温のこと。(体調不良もしくは不安がある場合は参加しないこと)

地形・地質班



地形・地質班 長崎の鼻



山中式土壤硬度計の操作



北嶺登山口入り口



クリノメーターの説明



クリノメーターで傾斜の測定



地形の説明



クリノメーターの操作(地形・地層等の走行)



GPSから現在地を確認

昆虫班



実習内容について伊藤講師から説明



アリ等の採集



アリ等の採集



TAから学生へ倒木に居るアリ等の説明



千間堂でのアリ等の採集



まとめ



まとめ



まとめ

樹木班



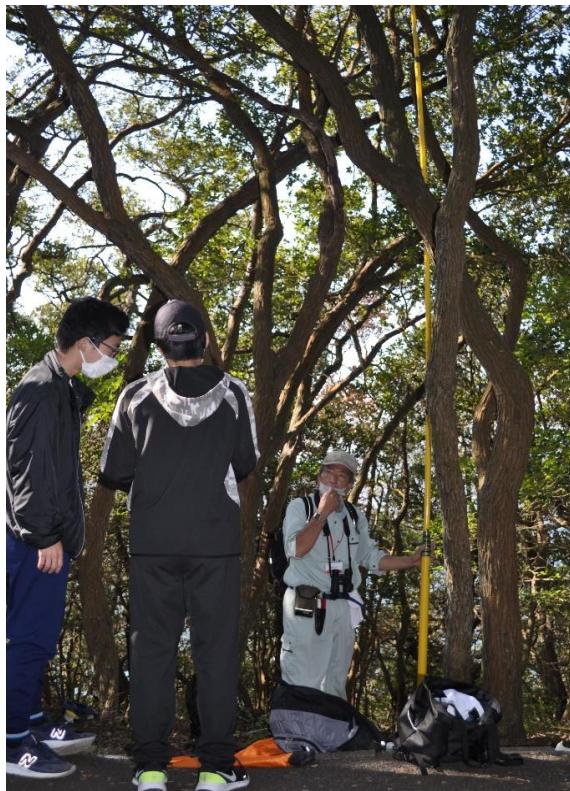
守屋講師から説明



実習内容について小宅講師から説明



木の周囲の測定



樹木の高さの測定



小宅講師から樹木の葉の説明



学生からの質問に答えて



学生からの質問に答えて

草本班



実習内容について篠原講師からの説明



遊鶴亭まで30m



標本を採取しながら千間堂跡へ



北嶺登山口から遊鶴亭へ



標本の分別の仕方についての説明



標本の採取の説明



講師から分別の指導

参加者のコメント

生徒

地形・地質

- ・近所にないためあまり気にしたことがなかった屋島だが、地質などを注意して見ると意外とおもしろく、様々な道具の使い方も学べた。
- ・みんなで協力し合って行うことが多かったので、楽しくできました。地質については、興味があったので、今回のフィールドワークで新たな知識を知れて、良かったです。
- ・山の岬がある理由が硬いからというのも知れたり、何もかんがえずに見ていた溝が歴史のあるものだと知れて興味深かったです。

昆虫

- ・3回目なので慣れて取り組めました。バテずに山登り切れました。天気が良くて楽しく活動できました。
- ・山の中といってもアリがそこら辺にいるというわけではなく、枯れ葉の中に隠れていたり、木の中にかたまっていたりして意外と簡単に見つからないのが意外でした。
- ・同定のむずかしさを実感した。
- ・山道がとても大変だった、昆虫にはこれまで苦手意識があったが今回採集してみて、そこまで気にならなかっただけで昆虫に対する意識が変わった。

樹木

- ・今回初めて参加して色々な事を教えてもらって楽しかったです。なんとなく理学部に入って今まで活動してきたけど、こういう活動も部室でする実験も幅が広くて面白いと思いました。来年も機会があれば参加したいです。
- ・今まで幹のようすや葉の形しか見ていなかったので対生や互生、単葉、複葉を見分けられると種類が調べやすくなって、これから植物を観察するときは注目したいと思った。
- ・木の葉に、自分が思っていたよりもたくさんの見分け方があることに気づいた。もっと身近な樹木を観察したい。

草本

- ・普段目にする事の少ないシダ植物も深く調べればさまざまがいがあり、シダ植物を見分ける作業は楽しかった。今回はシダ植物1つにしぼって考えたが、他の事について調べるときもこの経験をいかしていきたいと思った。
- ・いろいろな人とコミュニケーションできたことがすごくよかったです。シダの見分ける時の正解したときうれしかった。みんなの意見がすごくて、負けていられないと思い、自分も話した。このような課外活動はしたことがなかったので、いい体験になりました。
- ・植物の種類が多くて仕分けるのは少したいへんだったけれども、自然の多様性を感じれた。

教員

地形・地質

- ・情報をまとめる時間があれば更に良かったと思います。
- ・十分観察の時間がとれてよかったです。
- ・今回で3回目の参加となりました。参加する度に新しい見学・知識の習得ができます。
- コロナ禍の中、実習を設けていただきありがとうございます。学校の方でも、合宿など実施が難しい中、生徒達にとって良い機会となりました。

昆虫

- ・久々に外を歩けて楽しかった。

樹木

- ・前回、樹木班で参加したときよりも、生徒による種同定等毎木調査が充実していくとてもよかったです。
- ・毎年参加していますがあきることなくいつも勉強になります。教材(プリント)も年々分かりやすくなっています。

草本

- ・あっという間に時間がすぎる楽しいフィールドワークでした!
- ・今年はコロナの影響で1回も校外での活動がなかったので、生徒たちにとっても良い経験になったと思います。

新型コロナウイルス感染防止について

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から国が示す「3つの密」を回避する対策や「新しい生活様式」における感染防止の3つの基本を徹底して実施
屋内(れいがん茶屋もしくは屋島少年自然の家)で実施していたまとめと発表を屋外で実施
- ・香川県から令和2年9月15日に発出された「催物(イベント等)の開催にあたっての留意事項について」に記載されている事項に留意して実施
- ・公益社団法人日本環境フォーラム、NPO法人自然体験活動推進協議会、一般社団法人日本アウトドアネットワークの3団体が作成した「自然体験活動・自然教育・野外教育・環境教育を実施している事業体における新型コロナウイルス対応ガイドライン」に準じて実施
- ・各校から現地間は、小型バスに相乗りして移動するが「貸切バスにおける新型コロナウイルス対応ガイドライン」では、換気性能をもとに、航空機、列車などと同様に座席の利用に関する制限は設けられていない。
バス会社が新型コロナウイルス予防対策ガイドラインを作成していることを確認
バス会社独自で換気能力実証実験を実施(ただし大型バスのみ)
独自に座席背もたれに飛沫防止シートを設置



飛沫防止シートの設置